

JAレポート

組合の活動を
ご理解いただくために

ミニディスクロージャー誌
2017年9月期



京都市農業協同組合

京都市右京区西院西溝崎町24番地

TEL (075) 314-0898

目次

ごあいさつ	-----	1
事業の状況	-----	2～3
自己資本	-----	3
財務の状況	-----	4
不良債権の開示	-----	5
地域への貢献活動	-----	6
業務のご案内	-----	7～8
店舗のご案内	-----	9

JAバンクはグループの力で、
大きな安心をお届けしています。

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆様に「便利」で、「安心」な金融機関としてご利用頂けるよう、密接な連携をとっています。

JAバンク・セーフティーネット

破綻未然 防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度

+

貯金保険制度

貯金者等保護のための
公的な制度

本誌は、農業協同組合法第54条の3に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

ごあいさつ

皆様には、平素より格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当JAでは、組合員や地域の皆様とのふれあいを大切にし、地域に密着した金融機関として社会的使命を十分認識し、常に心のこもったサービス・情報の提供に心がけています。

この度、当JAの財務内容・活動実績のご報告として、半期ディスクロージャー誌を作成しましたので、本誌を通じてご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

これからも「元気な京都農業と豊かな地域社会の実現」をスローガンに掲げ、組合員・地域住民との結びつきを強めるとともに、都市農業の振興と地域社会への貢献を最大の使命として役職員が一丸となって取り組む所存でございます。

どうか今後とも一層のご厚情、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年12月

代表理事組合長

戸田秀司



プロフィール

(平成29年9月30日現在)

設 立	昭和23年8月6日
本店所在地	京都市右京区西院西溝崎町24番地 電話075-314-0898(代)
活動地区	ほぼ京都市全域
出 資 金	42億円
組合員数	正組合員3,185人、准組合員16,651人
役職員数	役員55人、職員247人(9月末退職者含む)
店 舗 数	16店舗 1出張所(10月30日現在)

※記載した金額は、表示単位未満四捨五入しています。そのため、表中の合計が一致しないことがあります。

※金額については、0円の場合は「-」、表示単位未満の端数がある場合は「0」で表示しております。

事業の状況

1. 信用事業

貯金残高

(単位：千円、%)

		平成28年9月末		平成29年3月末		平成29年9月末	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
当座性貯金	当座貯金	85,405	0.0	66,445	0.0	84,169	0.0
	普通貯金	45,164,194	20.8	48,210,447	21.4	49,370,063	21.7
	貯蓄貯金	62,270	0.0	64,433	0.0	64,620	0.0
	別段貯金	68,191	0.0	64,674	0.0	226,546	0.1
	計	45,380,060	20.8	48,406,000	21.4	49,745,398	21.8
定期性貯金	定期貯金	166,908,681	76.4	171,484,171	76.0	172,991,422	75.9
	定期積金	6,113,538	2.8	5,843,466	2.6	5,264,176	2.3
	計	173,022,219	79.2	177,327,637	78.6	178,255,598	78.2
合計		218,402,279	100.0	225,733,637	100.0	228,000,997	100.0

有価証券残高

(単位：千円、%)

		平成28年9月末		平成29年3月末		平成29年9月末	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債		—	—	1,477,150	35.3	3,010,550	52.4
地方債		750,429	100.0	1,724,270	41.3	1,743,910	30.4
受益証券		—	—	975,900	23.4	986,600	17.2
合計		750,429	100.0	4,177,320	100.0	5,741,060	100.0

有価証券時価情報

(単位：千円)

	平成29年3月末			平成29年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
その他の有価証券	4,174,120	4,177,320	3,199	5,669,976	5,741,060	71,084
合計	4,174,120	4,177,320	3,199	5,669,976	5,741,060	71,084

(注)1. 9月末有価証券の時価は9月末日における市場価額等に基づく時価であり、その時価を貸借対照表価額としています。

2. 取得価額は償却原価法適用後のものです。

預金残高

(単位：千円、%)

		平成28年9月末		平成29年3月末		平成29年9月末	
		残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
系統	当座預金	1,895,193	1.0	2,461,085	1.3	1,307,934	0.7
	普通預金	—	—	—	—	—	—
	定期預金	178,800,000	99.0	179,400,000	98.0	178,800,000	98.3
	計	180,695,193	100.0	181,861,085	99.3	180,107,934	99.0
系統外	普通預金	738	0.0	646	0.0	654	0.0
	定期預金	—	—	1,300,000	0.7	1,800,000	1.0
	計	738	0.0	1,300,646	0.7	1,800,654	1.0
合計		180,695,931	100.0	183,161,731	100.0	181,908,588	100.0

貸出金残高

(単位：千円、%)

	平成28年9月末		平成29年3月末		平成29年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
証書貸付金	42,921,651	90.6	42,951,878	85.2	45,818,030	84.5
当座貸越	261,205	0.6	249,692	0.5	242,762	0.4
金融機関貸付	4,192,000	8.8	7,192,000	14.3	8,192,000	15.1
合計	47,374,856	100.0	50,393,570	100.0	54,252,793	100.0

2. 共済事業

長期共済、年金共済の状況

(単位：千円)

		平成27年9月末	平成28年9月末	平成29年9月末
長期共済	新契約高	40,618,840	29,487,840	48,885,540
	保有高	509,831,824	499,431,000	492,193,295
年金共済	新契約高	160,360	170,390	193,690
	保有高	5,114,195	5,045,260	5,172,086

3. 営農経済事業

購買品取扱実績

(単位：千円)

	平成27年9月末	平成28年9月末	平成29年9月末
生産資材	208,620	223,953	202,220
生活物資	130,404	142,103	139,005
合計	339,025	366,056	341,225

自己資本

自己資本比率（国内適用基準）

	平成29年3月末	平成29年9月末
自己資本比率	21.85 %	21.65 %

(注) 9月末の自己資本比率は、29年3月末のオペレーショナル・リスク相当額、および29年9月末の自己資本額、信用リスク・アセット額に基づき算出しています。

出資金及び出資口数の推移

(単位：千円、口)

	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
出資金	4,009,345	4,076,277	4,264,975
(出資口数)	(13,364,484)	(13,587,593)	(14,216,585)

(注) 出資金は処分未済持分を控除しています。

財務の状況

貸借対照表 (平成29年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<資 産 の 部>		<負 債 の 部>	
1. 信用事業資産	243,137,488	1. 信用事業負債	234,084,551
(1) 現金	861,837	(1) 貯 金	228,000,997
(2) 預 金	181,908,588	(2) 借 入 金	4,100,000
(3) 有 価 証 券	5,741,060	(3) その他の信用事業負債	1,983,555
(4) 貸 出 金	54,252,793	2. 共 済 事 業 負 債	996,707
(5) その他の信用事業資産	543,233	3. 経 済 事 業 負 債	33,169
(6) 貸 倒 引 当 金	△ 170,022	4. 雑 負 債	123,659
2. 共 済 事 業 資 産	104,621	5. 諸 引 当 金	1,053,501
3. 経 済 事 業 資 産	76,366	6. 再評価に係る繰延税金負債	480,644
4. 雑 資 産	366,102	負債の部合計	236,772,231
5. 固 定 資 産	3,256,433	<純 資 産 の 部>	
(1) 有形固定資産	3,255,505	1. 組 合 員 資 本	14,674,948
建 物	1,837,713	(1) 出 資 金	4,264,975
機 械 装 置	12,964	(2) 利 益 剰 余 金	10,409,973
土 地	2,373,600	利 益 準 備 金	3,830,000
建 設 仮 勘 定	187,419	その他利益剰余金	6,579,973
その他の有形固定資産	202,505	信用事業基盤強化積立金	1,565,500
減価償却累計額(控除)	△ 1,358,695	電算対策特別積立金	675,860
(2) 無形固定資産	928	施設整備充実積立金	592,400
6. 外 部 出 資	5,636,254	協同組合運動推進積立金	131,320
7. 繰 延 税 金 資 産	169,528	経営安定化積立金	350,000
		周年記念事業積立金	30,000
		特 別 積 立 金	2,744,000
		当期未処分剰余金	490,893
		(うち当期剰余金)	(171,519)
		2. 評価・換算差額等	1,299,613
		純資産の部合計	15,974,561
資産の部合計	252,746,792	負債及び純資産の部合計	252,746,792

損益計算書 (平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	1,224,102	指導事業収入	1,611
信用事業収益	929,751	指導事業支出	8,407
信用事業費用	200,796	指導事業収支差額	△ 6,795
信用事業総利益	728,955	2. 事業管理費	1,058,833
共済事業収益	459,386	事業利益	165,269
共済事業費用	22,458	3. 事業外収益	75,090
共済事業総利益	436,928	4. 事業外費用	0
購買事業収益	365,320	経常利益	240,358
購買事業費用	303,039	5. 特別利益	—
購買事業総利益	62,281	6. 特別損失	—
販売事業収益	289	税引前当期利益	240,358
販売事業費用	86	法人税・住民税及び事業税	68,864
販売事業総利益	203	法人税等調整額	△ 24
利用事業収益	1,110	法人税等合計	68,840
利用事業費用	—	当期剰余金	171,519
利用事業総利益	1,110	当期首繰越剰余金	304,374
宅地等供給事業収益	1,435	協同組合運動推進積立金繰上額	15,000
宅地等供給事業費用	14	当期未処分剰余金	490,893
宅地等供給事業総利益	1,421		

不良債権の開示

金融再生法債権区分に基づく保全状況

(単位：千円)

債権区分	債権額			平成29年9月末債権額に対する保全額			
	平成29年3月末	平成29年9月末	増減額	担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,447	27,035	△ 413	—	27,035	—	27,035
危険債権	19,005	18,658	△ 347	—	18,658	—	18,658
要管理債権	—	—	—	—	—	—	—
小計	46,452	45,692	△ 760	—	45,692	—	45,692
正常債権	50,387,441	54,248,801	3,861,361				
合計	50,433,893	54,294,494	3,860,601				

(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態および経営成績等を基礎として、次の通り区分したものです。なお、当JAは同法の対象とはなっていませんが、参考として同法の定める基準に従い債権額を掲載しております。

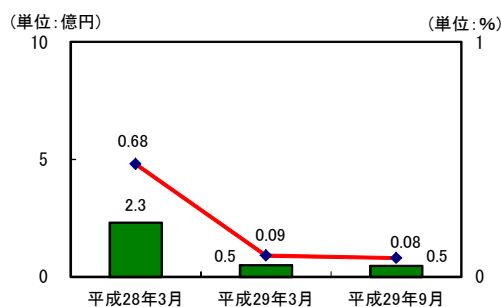
- 『破産更生債権及びこれらに準ずる債権』
法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 『危険債権』
経営破綻の状況には至っていないが、財政状況の悪化等により、契約に従った債権の元本及び利息の回収ができない可能性の高い債権です。
- 『要管理債権』
3ヶ月以上延滞貸出債権及び貸出条件緩和貸出債権です。
- 『正常債権』
上記以外の債権です。

不良債権比率の推移

開示債権の残高は、平成29年9月末で46百万円となっています

また、与信額との対比(不良債権比率)では0.08%となり、平成28年度からの目標値である0.50%以内を堅持しています。

今後も引き続き不良債権の圧縮に努めてまいります。



自己査定と開示債権の状況(信用事業にかかるもの)

(単位：千円)

	自己査定			
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先	—	—	—	—
実質破綻先	27,035	—	—	—
破綻懸念先	18,658	—	—	—
要注意先	782,891	1,834,490	—	—
正常先	51,631,420	—	—	—
合計	52,460,003	1,834,490	—	—

金融再生法による開示	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,035
危険債権	18,658
要管理債権	—
小計	45,692
正常債権	54,248,801
合計	54,294,494

地域への貢献活動

◇ 協同組織の特性

当JAは、京都市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する金融機関です。当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な「貯金」を原資としており、その資金を必要とする組合員の皆様方などに有効にご利用頂いております。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。また、JAの総合事業を通じて各種金融機能やサービスなどを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業振興や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

◇ 夏の大感謝祭の開催

7月23日、『夏の大感謝祭』を梅小路公園にて開催しました。この取り組みは、農業振興と協同組合活動など事業内容を地域住民に広く周知するためのもので、今回で4回目の開催となりました。当日は、3万人を超える方々にご来場いただき、農産物即売会や京グルメフェア、女性部フリーマーケット等を行いました。また、各支部から出品していただいた新鮮な農産物は品評会を経て、来場者に抽選でお配りしました。他にも、KBS京都の公開ラジオや生産者のPR、京都水族館と連携したブース、JAキッズスクール、粗品（とうもろこし・じゃがいも・玉ねぎ）の無料配布など、JAならではの催しを終日行いました。

管内では都市化が進み、農と住が混在する中、当JAは都市型農協としての役割を担っています。今後とも、農業者と地域住民が農を通じて交流を深める取り組みを続け、都市農業の振興と豊かな地域社会の発展に寄与してまいります。

◇ 地域からの資金調達状況

組合員をはじめ利用者皆様からお預かりした貯金の残高は、2,280億1百万円（うち定期積金の残高は52億64百万円）となっております。

資格別貯金残高の内訳は右の表の通りです。

貯金の資格別残高 (単位：百万円)

資 格	平成29年9月末
組 合 員 等	203,688
そ の 他	24,313
合 計	228,001
(内地域からの貯金)	(217,948)

◇ 地域への資金供給状況

組合員をはじめ利用者皆様への貸出金の残高は、542億53百万円となっております。

当JAは地域金融機関として、地域社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献することを使命と考え、事業資金や個人向けのご融資に積極的に対応してまいりました。

貸出金の資格別残高 (単位：百万円)

資 格	平成29年9月末
組 合 員 等	44,420
そ の 他	9,832
(内地方公共団体等)	(8,192)
合 計	54,253
(内地域への貸出金)	(47,495)

業務のご案内

J Aは、わたしたちの日常に欠かせない信用（貯金・融資・為替）、共済（生命・損害・年金）、営農経済（営農・購買・販売・生活・資産管理）事業などを総合的に営んでいます。相互扶助をモットーに活動していますので、一般の営利企業とは本質的に違い、組合員や広く地域の皆様の発展のために努力を重ねています。

以下に主な事業についてご案内いたします。

信用事業

信用事業は、貯金・融資・為替などいわゆる銀行業務といわれる内容の業務を行っています。

● 貯金業務

組合員はもちろん、地域の皆様や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。普通貯金・当座貯金・定期貯金・定期積金・総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用頂いています。

● 融資業務

組合員への融資をはじめ、地域の皆様の事業や生活に必要な資金をご融資しています。また、住宅金融支援機構・(株)日本政策金融公庫などの融資申込みのお取り次ぎもしています。

● 為替業務

信頼の輪で結ばれるJ Aバンクの店舗網（全国のJ A・都道府県信連・農林中金）をはじめ、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替ネットワークで結び、当J Aの窓口を通して全国どこの金融機関でも振込や手形・小切手などの取り立てが安全・確実・迅速にできる内国為替をお取り扱いしています。

● 国債窓口販売業務

個人向国債の窓口販売のお取り扱いをしています。

● サービス・その他

当J Aでは、コンピュータ・オンラインシステムを利用して、年金など各種自動受取り、各種自動支払いや事業主の皆様のための給与振込サービス・口座振替サービスなどをお取り扱いしています。

また、全国のJ A・ゆうちょ銀行・コンビニエンス・ストアでの貯金の出し入れや、銀行・信用金庫などのATMでも現金引き出しのできるキャッシュサービスなど、広範なサービスに努めています。

共 済 事 業

J A共済は、生命保険・損害保険を取り扱う協同組合保険（共済）であり、組合員・地域の皆様を不慮の災害や事故から守り、ご家族の暮らしを守ることを最大の目的とし、生命・建物・自動車共済などで大きな保障を提供しています。

また、介護知識・技術を普及するための研修会を開催するなど福祉活動にも取り組んでいます。

営 農 経 済 事 業

● 経済事業

農業に必要な肥料・農薬・飼料・資材・農機具などの生産資材はもとより、自動車をはじめ、お米、生活に必要な日用品にいたるまで、協同の力でより良い品物を取り扱っています。

● 営農・生活指導事業

消費者が安心できる良質な農作物を提供するため、農作物の栽培や農薬の安全使用など、農業に関わる幅広い相談活動を通じて、自然環境と調和した営農指導を行っています。また、女性部の文化活動を通して、魅力ある組織の拡充を目指しています。さらに、定期的に広報誌「いっぷく」を発行し、組合員への教育広報活動にも取り組んでいます。

この他、巡回健診を通じて組合員の健康管理活動も行っています。

業 務 推 進 部 門

業務推進部門は、各事業の渉外力強化を図るため、業務推進に特化した専門部署です。各事業の進捗管理の徹底・業務推進に向けた企画立案・渉外担当者への教育指導などを担当する指導課を設置しています。各種研修会を開催し、幅広い顧客ニーズに対応できるよう育成強化を図り、事業量の増大や生産性向上に努めます。

10月30日に資産管理課の管轄が営農経済部から業務推進部へ変更になりました。

● 資産管理事業

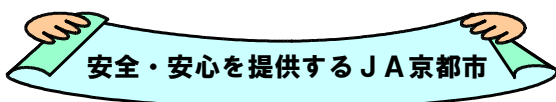
組合員の資産有効利用への適切なアドバイスと情報提供に努めるため、各種相談業務を行っています。この相談業務では、法律個人相談会、資産管理移動相談会を定期的に行い、組合員のより一層の生活向上と次世代に安心して継承できる資産構成の確立を目指しています。

店舗のご案内

(10月30日現在)

店舗・施設	郵便番号	所在地の住所	TEL	FAX	ATMの設置状況
本店	〒615-0046	右、西院西溝崎町24 (信用部・融資部) (営農経済部) (共済部) (業務推進部) (総務部・監査室)	313-2051 754-6176 314-5631 " 314-0898	316-0036 321-1617 321-5487 314-0911 313-2643	●
松尾支店	〒615-8282	西、松尾大利町15-1	391-6000	381-4266	●
桂支店	〒615-8016	西、桂久方町69-2	391-4111	381-4678	●
川岡支店	〒615-8192	西、川島寺田町15-3	391-2345	381-8119	●
醍醐支店	〒601-1352	伏、醍醐南里町5-4	571-0015	572-3728	●
大宮支店	〒603-8217	北、紫野上門前町10	491-4060	491-8909	●
上賀茂支店	〒603-8083	北、上賀茂向繩手町66	791-7872	701-0558	●
伏見支店	〒612-0029	伏、深草西浦町5丁目19-2	641-7101	644-2925	●
山科南部支店	〒607-8169	山、柳辻西浦町24	594-0275	502-3887	●
山科北部支店	〒607-8352	山、西野岸ノ下町40	593-7411	502-3670	●
上鳥羽支店	〒601-8137	南、上鳥羽城ヶ前町22	681-7271	672-9058	●
嵯峨野支店	〒616-8182	右、太秦北路町13-1	871-4354	862-1346	●
嵯峨野支店経済出張所	〒616-8487	右、嵯峨越畑中ノ町47-1	0771-44-0901	0771-44-0710	—
久我支店	〒612-8494	伏、久我東町1-56	933-4615	922-8266	●
修学院支店	〒606-8081	左、修学院大林町13	781-1144	701-0501	●
吉祥院支店	〒601-8315	南、吉祥院車道町42-1	681-5545	672-9054	●
大枝支店	〒610-1105	西、大枝塚原町4-29	331-2626	331-4001	●
農機具センター	〒615-8283	西、松尾井戸町68-2	391-4193	391-4192	—

10月30日、嵯峨北部支店、嵯峨支店、本店管轄の太秦地区、花園地区を統合する店舗として、嵯峨野支店を開設しました。なお、旧嵯峨北部支店の事務所は嵯峨野支店経済出張所として、生産資材を取り扱っております。



当JAは上記の「店舗のご案内」の通り、ほぼ市内全域を管轄する農業協同組合で「安全・安心」をモットーに、堅実な歩みを重ねております。これもひとえに、組合員皆様のご協力・お引き立ての賜と改めて感謝申し上げます。今後とも組合員皆様との「絆」を深め、JA京都市の成長を図ってまいりたいと考えています。こうした当JAの活動を、広報誌「いっぷく」に盛りだくさん掲載しております。

広報誌を通じ、さらに当JAを身近な存在としてご利用して頂けたなら幸いです。





disclosure
2017年9月期

